


 ☺家読（うちどく）はじめてみませんか？☺

【小学生低学年向け】

♣保護者の皆様へ♣

第3号（令和5年12月発行）芦別市立図書館

◆楽しく本を読みましよう◆

書店に行くと本がとっても魅力的に見えて、買ってしまおうという経験はありませんか？そこでは新しい作家やテーマとの出会いがあります。本を見る機会が多いほど、読書量は増えます。皆さんの家に本棚はありますか？子ども向けの本は何冊ありますか？本がたくさんある環境で育つことで、子どもの知的好奇心が刺激され、自然に読書の世界へ入っていくことができます。子どもは年齢によって読む本が違います。良い本だからといって年齢に合わない本を読むと、本が嫌いになります。その子に合った本を読んであげましょう。図書館には新しい本ばかりではなく、長く読み継がれている良書がたくさんそろっています。また、書店では手に入らない古い本もあります。図書館を上手に使って、色々な本と出会ってみませんか？本の世界では、どんなことでも体験可能。さあ本を広げて、知らない世界へ出かけましょう！

「読書が好きになる方法」

★ 笑う門には福来る ★

子どもという時は笑顔ですか？大人が笑顔だと、子どもも笑顔になります。家の中が明るくなり、幸福な気持ちになります。おもしろい本を読んで、一緒に笑ってください。心も体も健康になります。

★ 行事を楽しんで ★

12月はクリスマスや年越し。1月はお正月があり、日本の行事や文化に触れる良い機会です。行事の由来や、意味を知るきっかけに本を使ってください。「十二支」「年神様」など昔話の絵本もおすすめ。家族そろってごちそうを食べて、クリスマスプレゼントやお年玉がもらえるこの時期は、子どもにとって楽しみな季節。本のプレゼントもいいですね。

★ 長編も読める ★

文字が読めるようになると「読み聞かせはおしまい」と考えていませんか？文字を読んで文章の意味を理解するのはとっても大変なことです。でも、読み聞かせだと、小さな子どもでも長編を楽しむことができます。「この本、読んで」と言われたら、チャンス。読み聞かせすることで、親も一緒に楽しむことができます。

★ 音読のススメ ★

「おもしろそうだから読んでくれる？」と音読してもらいましょう。読んでくれたら「おもしろかったね」とほめてあげましょう。音読が得意になると自信がつき、国語が好きになりますよ。

「子どもと一緒に本を楽しむ」ポイント！

- ◆子どもが選んだ本を楽しむ。
- ◆寝る前は、ふとんの中でいっしょに読書の時間を過ごす。
- ◆おもしろかった本の続きを読む。その作者の別の本をもう1冊読む。



小学校低学年向け おすすめ本のリスト

1年生におすすめの本

もう ぜっこうだ！



「1ねん1くみ1ばんわがまま」

作：後藤竜二 絵：長谷川知子

出版社：ポプラ社

はっぴょう会だいせいこう



「タニシのがくげいかい」

作：阿部夏丸 絵：村上康成

出版社：講談社

季節の本を読もう

季節をテーマにした本は、子どもたちも関心があり、喜ばれます。色々なことを知るチャンスでもあります。12月はクリスマスや雪…。1月はお正月や十二支など、テーマは色々。冬は家で過ごす時間が長くなるので、読書にぴったりの季節です。

クリスマスのおすすめ本

「1ねんでいちばんうれしい夜」

作／絵：岡本颯子（ポプラ社）

「サンタのいちねん トナカイのいちねん」

作／絵：きしらまゆこ（ひさかたチャイルド）

「クリスマスってなあに」

作／絵：ディック・ブルーナ（講談社）

「サンタクロースってほんとにいるの？」

作：てるおかいつこ／絵：すぎうらはんも

（福音館書店）

「となかいは なぜ サンタのそりをひく？」

作：モー・プライス／絵：アツコ・モロズミ

（岩波書店）

「イエスさまがうまれた」

作：わきたあきこ／絵：永田萌（女子パウロ会）

「サンタクロースがかぜひいた！」

作：ジュリー・サイクス／絵：ティム・ワーンズ

（文芸堂）

「わすれんぼうのサンタクロース」

作：中川ひろたか／絵：中川貴雄（教育画劇）



2年生におすすめの本

なやみごとは なに？



「からっぽになったキャンディのおはなし」

作：大久保雨咲 絵：出口かずみ

出版社：小峰書店

ハラハラ ドキドキ



ふしぎ町のふしぎレストラン4

「めざましスープのすごいききめ」

作：三田村信行 絵：あさくらまや

出版社：あかね書房

3年生におすすめの本

おどろきのてんてんおぼけ



「へんしん～ん！ことばブック」

作：齋藤孝 絵：林ユミ

出版社：小学館

うわさにまけない！



「十一月は変身！」

作：後藤竜二 絵：福田岩緒

出版社：新日本出版社